

## ボツワナ共和国月報(2021年11月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- タウ裁判官を控訴裁判所長官に任命
- カバンゴ・ザンベジ・トランスフロンティア保護区、象の個体数調査に向け準備
- マシシ大統領の所信表明演説
- ハボロネ・バスターミナルにてストライキ
- 控訴裁判所長官、同性愛に関する国からの上告を却下

#### 【外政】

- マシシ大統領、欧州を外遊
- マシシ大統領、ユニセフ主催の世界子どもの日のイベントに参加

#### 【経済】

- COP26結果
- 10月の年間インフレ率は8.8%
- WHO「顧みられない熱帯病(土壌伝播寄生虫症)」撲滅加速プロジェクト閉会式典
- モルプレ炭鉱モセオ露天掘り事業起工式

#### 【治安】

- ボツワナにおける武装強盗の増加

#### 【内政】

##### ○タウ裁判官を控訴裁判所長官に任命

憲法第100条(1)により、マシシ大統領は、2021年12月1日付でタウ裁判官を控訴裁判所長官(当館注:the Court of Appeal。当国の最高裁判所に当たる。)に任命した。

##### ○カバンゴ・ザンベジ・トランスフロンティア保護区、象の個体数調査に向け準備

世界で最も大きい保全地区の1つであるカバンゴ・ザンベジ・トランスフロンティア保護区は、南部アフリカ地域に生息する象の数を確認するため、2022年5月から8月まで、象の個体数調査を実施する予定。同地区における本調査の実施は初めて。

##### ○マシシ大統領の所信表明演説

マシシ大統領は8日、所信表明演説を行い、経済及び雇用、社会福祉向上、持続可能な環境、ガバナンス・平和・安全保障等における本年の成果及び今後の政策方針につき言及した。

#### ○ハボロネ・バスターミナルにてストライキ

23日、バス運転手は、ハボロネ・バスターミナルにてストライキを実施した。本ストライキは、ガソリン価格の高騰、またそれに伴いバス運転手自身の交通費が高くなっていくことを踏まえ、政府に対しバス運賃の引き上げを書簡にて要求したものの同書簡に記載されていた10日以内に政府から返信がなかったことに対し実施されたもの。

#### ○控訴裁判所長官、同性愛に関する国からの上告を却下

2019年、キーツァベ司法長官は、刑法の同性愛を禁ずる条項が違憲であるとした高裁(the High Court)の判決を覆すために上告をした。これに関し、退任予定のカービイ控訴裁判所長官は29日、ボツワナで禁じられている同性愛の非犯罪化を支持すべく、国からの同上告を却下した。

### 【外政】

#### ○マシシ大統領、欧州を外遊

9日から18日まで、マシシ大統領は、欧州(パリ、ブリュッセル及びロンドン)を外遊した。同外遊中、マシシ大統領は、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)設立75周年イベントに参加した他、ミシェル欧州理事会会議長と面会し、キンバリー・プロセス事務局の誘致に関し協議した。

#### ○マシシ大統領、ユニセフ主催の世界子どもの日のイベントに参加

20日、マシシ・ボツワナ大統領、ガインコブ・ナミビア大統領、ヒチレマ・ザンビア大統領及びムナンガグワ・ジンバブエ大統領は、カサネにて開催された世界子どもの日のイベントに出席した。同大統領は若者と「我々の求める未来、すべての子どもが最善の機会と技術を確保するため、大きな1歩を踏み出す」と題したパネル・ディスカッションを行った。なお、本イベントには、当館星山大使も出席した。

### 【経済】

#### ○COP26 結果

第26回気候変動枠組条約締約国会議において、ボツワナは、石炭使用削減の合意に署名した一方で、右合意のうち、未稼働石炭火力発電プロジェクトの新規許可証の発行中止、未稼働石炭火力発電プロジェクトの新規建設中止及び未稼働石炭火力発電に対する政府の新たな直接支援の終了については、コミットしないこととした。

#### ○10月の年間インフレ率は8.8%

ボツワナにおける10月の年間インフレ率は、5か月連続の8%台となる8.8%となり前月の8.4%から0.4%上昇した。なお都市部の同月の年間インフレ率は9.0%まで上昇

した。

#### ○WHO「顧みられない熱帯病(土壌伝播寄生虫症)」撲滅加速プロジェクト閉会式典

星山大使及びディコロティ保健大臣は、カサネで開催された「顧みられない熱帯病(土壌伝播寄生虫症)」撲滅加速プロジェクト(令和元年度補正予算案件(WHO実施))の閉会式典に出席した。出席者より、日本政府の支援に対する謝意の表明があった。

#### ○モルプレ炭鉱モセオ露天掘り事業起工式

マシシ大統領は 26 日に举行されたモルプレ炭鉱山モセオ炭鉱露天掘り事業起工式にて、ボツワナには 2120 億トンの未開発の石炭埋蔵量があり、国内の資源需要に応えるべく膨大な埋蔵量の石炭を活用することを決定したと述べた。他方、同大統領は、同国が 2030 年までに二酸化炭素の排出量を 15%削減することにコミットしていることに鑑み、環境に優しい石炭資源の利用を模索しているとし、電気自動車などの技術の鉱山地域への導入を通じた二酸化炭素の排出量の削減、大学や研究機関との戦略的パートナーシップを通じた、より安全でクリーンな方法で石炭資源を利用する革新的な方法を考案していくと述べた。

#### 【治安】

##### ○ボツワナにおける武装強盗の増加

南アフリカから密輸されたと思われる銃が、ボツワナ国内で広く入手できるようになったことから、武装強盗が増加している。6月から11月までの間、武装した強盗による現金輸送車の襲撃等、大きく取り上げられている事件が10件にのぼった。